

市政を問う(個人質問)

令和3年12月8日・9日

記載の順番は、発言通告書が提出された順番です。 ※質問事項は、一部のみ掲載しています。

個人質問

質問番号	氏名	質問事項	掲載頁
1	西村 弘樹 【分割方式】	1 地区防災計画に対する対応について 2 災害時の要配慮者への対応と体制構築について	9
2	渡邊 邦男 【一問一答方式】	1 令和3年8月に地球市民の森より発生した豪雨水災害の対応について 2 今回の水災害について 3 今後の対応策について 4 周辺自治会の水害対策について	9
3	酒井 洋輔 【一問一答方式】	1 認定こども園守山幼稚園における外部搬入給食について	10
4	國枝 敏孝 【総括方式】	1 こども園における預かり保育について	10
5	森重 重則 【総括方式】	1 持続可能な市民協働のまちづくりに向けて (1) 市民提案型事業について (2) ふるさと納税の使途選定方法について (3) コミュニティ通貨、デジタル地域通貨について (4) 市民活動の支援体制の強化拡充に向けて	11
6	山崎 直規 【分割方式】	1 スマホ講習会の取り組みについて 2 デジタル障害者手帳の推進について 3 感震ブレーカーの推進について	11
7	小牧 一美 【一問一答方式】	1 新環境センターばいじん処理物からダイオキシンが発生した件について (1) 事故の対応について (2) 守山市のごみ処理方針について 2 守山市市民参加と協働のまちづくり条例と市長の役割について 3 北部地域における図書館利用の促進について 4 灯油価格高騰の中、「福祉灯油」の支援策を求める	12
8	福井 寿美子 【分割方式】	1 子どもの権利条約である「子どもの意見表明権」をふまえた「守山市子ども市議会」の開催について 2 ルシオール・アートキッズフェスティバルでの「体験ブース」の充実について	12
9	筈井 昌彦 【一問一答方式】	(一財)守山野洲市民交流プラザによる隣接地での「新都賀山荘」の整備について 1 一般財団の従業員の雇用の在り方と厳しい財政状況下での資金繰りも含めての運営について 2 「新都賀山荘」の施設整備計画について	13
10	藤原 浩美 【分割方式】	1 感染予防と生活支援を含めた新型コロナ第6波への備えを 2 誰ひとり取り残されない市の情報共有を目指して (1) 「広報もりやま」について (2) ラジオを通しての情報提供について (3) 災害緊急情報システムについて 3 高齢者が安心して過ごすことができる生活支援の充実について (1) 配食サービスについて (2) 紙おむつ助成について (3) 高齢者の利用しやすい移動手段の確保について	13
11	今江 恒夫 【分割方式】	1 地域コミュニティ拠点として地区会館の役割について 2 環境問題について (1) 新環境センター稼働後の状況と分析について (2) ごみ分別の啓発活動について (3) ポイ捨てごみゼロの実現に向けて	14
12	小西 孝司 【一問一答方式】	1 オストメイト対応トイレについて	14
13	川本 航平 【一問一答方式】	1 市政報告会の開催について	15

問

「地区防災計画に対する対応及び
災害時の対応と体制構築」について



問 地区防災計画における今後の財政的支援と高額賠償対応の保険加入について伺う。

答 財政支援については吉身学区で計画に基づく訓練が実施され、その状況や課題も踏まえ、また他学区では策定の状況等を踏まえ検討します。本市では「防火防災訓練災害補償等共済制度」等により、訓練活動中の事故への補償に備えています。また全国社会福祉協議会の「ボランティア行事用保険」では、対人賠償は1人2億円の限度額でこの様な避難・防災訓練に伴う保険加入料についても、守山市自治会防災施設・設備整備費等補助金の対象で地区防災計画に基づく防災訓練の継続実施を支援する点から、有効に活用頂けるよう検討します。

問 災害時の要配慮者への対応と個別避難計画の作成について、インクルージョンマネージャーの育成等について、またケアマネ等専門職の専門外知識の習得や教育について伺う。

答 避難行動要支援者当事者のみならず地域住民、福

祉専門職の皆様のご協力が得られるよう、計画作成に係る関係者対象の研修会等について検討します。滋賀モデルの実施結果を踏まえ、インクルージョンマネージャーの役割等の研究を行った上で検討します。福祉等担当部署の開催する会議等での説明や情報共有等の機会を設けるなどにより、個別避難計画作成への理解を図ると共に機運を醸成し、計画作成に繋げていきます。



新公会 **にしむら ひろき**
西村 弘樹

問

令和3年8月に地球市民の森より発生した
豪雨水災害について

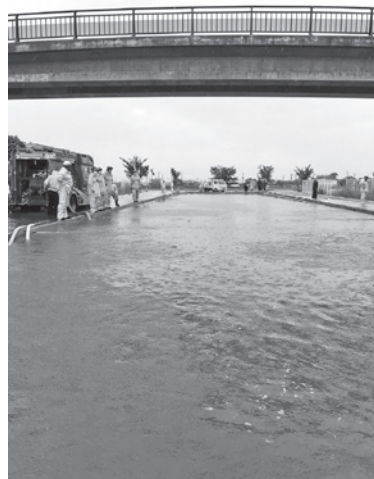


問 現在の地球市民の森は旧野洲川廃川敷である。野洲川は度重なる決壊により床上・床下浸水などの水災害が発生してきた。現在は新しい野洲川放水路が整備され、地域住民は安心して日々の生活を送っている。そのような中、本年8月14日に集中豪雨による思いもなかった水災害が発生した。今回の水災害はR477号バイパス道路整備が引き起こしたと考えるが、見解を伺う。

答 今回の事案は50年に一度と言われる想定外の豪雨でありました。降雨量も255mmを記録しており、排水能力を超えた雨水がR477号バイパスの工事現場から溢水したものであります。抜本的な対策については、県土木交通部長・知事に対して要望を行ったところです。

問 特に水害に遭われた開発・大曲自治会にとっては一層の不安が募ったことと思う。今後安心して市民生活を送っていただくための町内排水等のインフラ整備に取り組まれるべきと考えるが、見解を伺う。

答 今回の事案で地域の皆さまにご不安とご心配をおかけする事態となり、2度と起こらないよう管理者として再発防止対策に万全を期します。また、町内排水等のインフラ整備については、地域の皆さまと協議する中で市が責任をもって対応していきます。



無所属 **わたなべ くに お**
渡邊 邦男



問

温かい給食を提供したい！ 市内子ども達の公平性が担保されるように！！

問 認定こども園守山幼稚園で子ども達が冷たい給食を食している現状をどのように考えているか。

答 食中毒の発生防止対策の観点から、現時点では厚生労働省の保管ルールにより、搬入後10度以下で保存することが義務付けられています。しかし、行政としても少しでもこの状況を改善すべく、保温効果の高い食缶を導入し、10月からは汁物などの一部温かいメニューの提供に努めていきます。



さかい ようすけ
翔政会 酒井 洋輔



問 施設整備がされるまでの当面の間は外部搬入との事だが、「当面の間」の具体的なスケジュールはたっているのか。

答 何年後というのは現時点では言えない状況です。しかし、行政としても自園調理はとても大切との認識はしています。子ども園のニーズの増加、空き教室等の総合的な環境が整わないと整備が難しい状況であります。

問 市内業者や近隣施設等で調理し搬入することで自園調理に近い形で温かい給食を提供できると思うがいかがか。

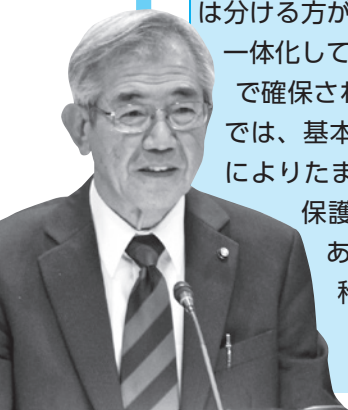
答 現在の搬入業者とは1年契約となっています。安全安心で安定した搬入が行える市内業者がおられる場合については導入に向けての前向きに検討は出来ると考えています。



問

「こども園」における預かり保育について

問 子ども・子育て支援は、近年、国、地方自治体を問わず大変重要な政策となっている。幼稚園と保育園を一体化する「こども園」化もそのひとつだが、問題は、やはり単独幼稚園と差があることである。本来、午後2時までで家に帰る子どもと基本午後4時半まで園にいる子どもの教育・保育の形は分ける方が望ましいと考えるが、「こども園」では一体化している。教育・保育の質はどのような形で確保されているのか伺う。また、単独幼稚園では、基本的に預かりは午後2時までだが事情によりたまに4時半まで預かって欲しいなどの保護者の要望に応える預かり保育制度がある。しかし、「こども園」の短時部、幼稚園にあたる学級の子どもの保護者はこの制度が利用できない。同じ守山市内に住みながら住む場所、学区に



くにえだ としたか
ネットワーク未来 國枝 敏孝

よって重要な施策に差があるというのは大きな問題だと思うが、どのようにこの格差を解消していくのかその方針を伺う。

答 本市では、公民すべての保育・幼児教育施設で統一した「幼児教育・保育カリキュラム」を策定しその充実に努めています。また、平成21年度より「保育士」、「幼稚園教諭」を「幼児教育職」に一本化し、職員全体の資質向上を図っています。こうしたことで、市内どの園でも等しく良質な幼児教育・保育サービスが受けられるように努めています。また、預かり保育については、本市の最大の課題であった待機児童の早期解消を目的に、幼稚園での空き教室を活用する形で始めた制度であります。待機児童の継続的な解消に一定の目途が立ち、また、午後2時までの預かりと家庭での教育・保育を両立させようとする保護者の子育て支援の役割も果たしていることから、その手法も含め検討する必要があると認識しています。



問

持続可能な市民協働のまちづくりに向けて



ふるさと納税の使い途について

問 ふるさと納税とクラウドファンディングを併せ持った制度へ改良していく必要があると考えますが。

答 市民活動団体にとって、資金面の調達が継続してでき、団体を指定して寄附されることなど団体のモチベーションの向上、新たな人材の発掘など多くのメリットがあると考えられ当該補助制度の導入について鋭意検討していきます。

コミュニティ通貨、デジタル地域通貨について

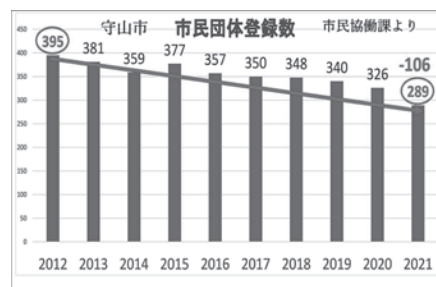
問 コミュニティ通貨、デジタル地域通貨で社会貢献活動でポイントを獲得し利用できると、楽しみながら地域の課題解決や地元のお店・事業者とのつながり機会を増やし、市民活動を増やす期待ができると考えますが。

答 地域ポイントや地域通貨制度は「つながり」を「見える化」した仕組みであると考えます。市民目線や若者目線で検討していかなければならないと考えます。

市民活動の支援体制の強化拡充に向けて

問 市民と市民、市民と行政、企業と市民などの間に立つ中間支援組織を設け、ワンストップで総合的な支援体制が必要であると考えますが。

答 持続可能な市民協働のまちづくりの一層の推進に向けて総合的な支援ができる中間支援組織の構築を目指していきます。



ネットワーク未来

もりしげ
森重

しげのり
重則

問

スマホ講習会の取り組みの推進を



問 スマホ講習会での、参加者の感想、参加状況など把握されているか。

答 市内では、携帯ショップ5店舗すべてにおいて、スマホの基本操作などが学べる無料講習会が開催されています。「丁寧、親切に教えてもらえて嬉しかった、分からなかったことが聞けて良かった、高齢者の一人暮らしで子どもに聞くことも出来ず助かった」など、好評であり、本市全体のデジタルデバインド解消に大いに寄与しているものと感謝しています。

問 シルバー人材センターなどを活用した開催は検討しているか。

答 市民向けのスマホ講習会が市内各所で開催できるよう、現在、シルバー人材センターや、老人クラブ連合会、守山商工会議所、各学区の公民館などの主催者と、携帯ショップとの橋渡しを本市により行っており、また講師として専門アドバイザーの派遣が受けられるよう調整も進めています。

問 スマートフォンアプリミライロIDを活用した障害者手帳の利便性向上を。

答 ミライロIDについては、障害者手帳情報をアプリに取り込み、その情報を提示することで、参画事業者の様々な割引やサービスを受けられるスマートフォンアプリであると認識しています。各事業所の参画状況やアプリ利用者の普及状況等の動向を注視するなか、まずは先進市の運用状況等、情報収集に努めていきます。



その他の質問

・感震ブレーカーの推進を

公明党

やまさき
山崎

なおき
直規



問

新環境センター^{ばいじん}煤塵に ダイオキシンが発生したことについて

問 現行の焼却を続ける限り、水銀など重金属も焼却灰に含まれることは避けられない。その検査はどのように行うのか。

答 ダイオキシン検査と同様に当面、検査頻度を増やす。監督責任を有する守山市として安全・安心の運転を徹底します。

問 サーマルリサイクルはやめるべき。少なくとも破碎ごみは分別回収して金属類は焼却炉に入れないことを徹するべき。

答 プラスチックの再資源化の手法は不透明。まだ課題があり、一部不適切な分別により焼却炉の運転に影響が生じました。

問 子育て臨時特別給付金をクーポン支給で967億円事務費がかかることに批判が出ている。現金で一括

支給したらどうか。

答 国からの情報がなく、見極めていきます。

問 駅東口再開発など、市長の市政運営は強引すぎる。市政の情報提供・共有、政策の合意形成のプロセスが大事。強引な政治姿勢はあらためるべき。

答 市民とともに諸課題解決に取り組まなければならないと考えます。対話を重視し、市民に開かれた市政運営を心掛けていきます。

問 北部地域の図書館整備は評価するが、「北部図書機能」とされたのはなぜか。

答 図書館法に規定する図書館として整備します。

その他の質問

・「福祉灯油」の支援を求める。



日本共産党議員団 ^{こまき} 小牧 ^{かずみ} 一美



問

子どもの権利条約である「子どもの意見表明権」を ふまえた「守山市子ども市議会」の開催について

問 守山市政施行50周年記念事業「私たちが守山の未来をつくる中高生サミット」を子どもの権利条約である「子どもの意見表明権」をふまえた「守山市子ども市議会」として継続すべきではないか。

答 中高生から当日、議員の皆様から頂いたご意見、ご感想、エールを含めた後押しが「私たちが次の50年先の守山のチカラになる」と心強い思いを語ってくれました。現在、中高生サミットでの5つの提言を可能なものから政策に反映すべく関係課と調整を図っていきます。来年度も本年度同様の形式で、市議会議員の皆様のご協力を賜る中、「中高生サミット」を実施していきたいと考えています。

問 ルシオール・アートキッズフェスティバルならではの体験すること楽しさや感動、新たな自分を発見する場として子どもたちに「体験ブース」の更なる充実を求める。

答 今年度の開催から、より自由な発想や企画を期待し守山市文化体育振興事業団に委託。また推進委員会からのご意見も賜る中、文化芸術体験を通して様々なプログラムを用意して継続開催していきます。今後もウィズコロナの開催が余儀なくされるため「おうちルシオール」と称して動画配信型の体験プログラムも実施していきます。



ネットワーク未来 ^{ふくい} 福井 ^{すみこ} 寿美子



問

(一財)守山野洲市民交流プラザによる 隣接地での「新都賀山荘」の整備について



問 2年に及ぶコロナ禍により令和2年度の年間売り上げが65%減収という危機的な状況になり財団と市は今後の施設のあり方について協議を重ねられ財団の存続と事業の再構築を判断された。今日までの経過から財団の従業員の皆さまの雇用の在り方について伺う。

答 個別面談により今日までの経過や今後の見通しについて説明され一定の理解は得られているものの、これを機に新たな可能性を考えられた方からの希望退職もありました。今後も丁寧に個別相談に応じていきます。

問 なお厳しい財政状況下での資金繰りも含めての運営について伺う。

答 金融機関からの借入れの目途が立ち、市からの補償の前払いまでの資金の見通しはつきました。公益目的事業や勤労福祉事業については来年度は公共施設等での継続を計画されています。

問 新都賀山荘の整備については今回のコロナ禍などを教訓にその収益をもって公益目的事業を展開されることから収益性と強固な財政基盤の確立が求められる。現施設整備計画で30年間の事業運営が可能であるのか伺う。

答 持続的なサービスと経営リスクを減らした安定的な経営を目指し民間事業者との連携による整備を計画され、それを可能にするための整備内容、経営内容を検討されています。決定され次第、内容について説明します。

【位置図】



新公会 はずい 昌彦 ますひこ

問

感染予防と生活支援を含めた 新型コロナ第6波への備えを



問 コロナ第6波への備えとしてケア労働者等への定期的検査の実施を。生活困窮者が相談しやすい環境作りを。事業所への営業支援や米価下落に伴う農業者支援をすべき。

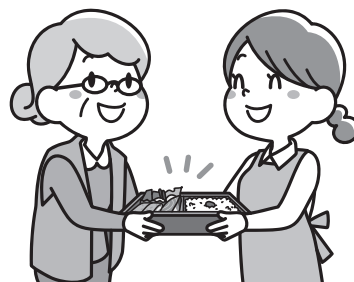
答 県が検査体制を整備している重層的支援に取り組む中11月末で925人の相談支援を実施しました。飲食関連、一部のサービス業は厳しい状況です。今後も多角的に実態把握に努めます。国県の経済対策の周知と申請手続き支援、市独自支援策も実施します。農業者には、免税軽油制度を周知します。

問 新聞購読者減少により「広報もりやま」が届かない世帯が増えている。配布方法を検討すべき。「コミュニティFM」を整備して市政情報発信とともに、災害緊急情報を伝達すべき。

答 広報の設置場所を拡大します。個別配布への相談に応じます。「コミュニティFM」は調査研究していますが、経費の面から判断が難しいです。災害情報伝達整備の充実を検討していきます。

問 高齢者配食サービスの所得制限緩和・紙おむつ助成対象の拡充をすべき。高齢者の免許返納を勧めるには、公共交通網の充実が必要である。

答 配食サービス対象外の方へは、民間サービスを紹介しています。紙おむつ利用負担が増える介護度3以上に支援をしています。「高齢者お出かけパス」「もーりーカー」「福祉運送事業」で支援しています。



日本共産党議員団 ふじわら ひろみ 藤原 浩美



問

地域コミュニティ拠点として地区会館の役割

問 地域力強化へ向けた、地域住民と協働で推進する取組みの充実について伺う。

答 今後も積極的に市民皆様との交流を図り、しっかりと情報共有を行う中、地域の特性を活かした地域が主体となった活動を支援・推進していきます。

問 地域と市役所を繋ぐプラットフォームとしての地区会館における相談窓口の強化について伺う。

答 職員がしっかりと地区会館の役割を認識し、地域や市民の皆様に寄り添った対応に努めます。

問 人口規模と会館施設の在り方について伺う。

答 今後、財政状況等を勘案する中、市全体の財政改革プログラム等の中で検討していきます。



新政会 いま え つね お
今江 恒夫

環境問題について

問 新環境センター稼働後の分別状況について伺う。

答 一分別が出来ておらず警告シールを張り付けたのが、10月は79件、11月は98件あり、ごみ袋を開封し展開検査を強化していきます。

問 ごみ分別の啓発活動強化について伺う。

答 ポスター等を作成し自治会に提供するなど、市民の皆様正しくごみ分別のご協力をいただけるよう取り組んでいきます。

問 ポイ捨てごみゼロの実現に向けての取組みについて伺う。

答 「守山市ごみ・水環境問題市民会議」にて、「さわやか守山イチニー・イチ運動」が実施され、啓発活動に取り組みました。また、環境学習事業を通して、環境意識の向上へ努めます。



問

オストメイト対応トイレについて

問 様々な病気や事故などにより腹部に排泄のためのストーマ(人工肛門や人工膀胱)を造設した人を「オストメイト」という。オストメイトはストーマ用装具を装着することによって積極的に社会参加をすることができますが、外見ではわかりづらい内部障害であるため社会的な理解が十分に進んでいない部分がある。障害のある人の行動や社会参加を拒んでいるのは物理面のバリア(障壁)に加え周囲の人の偏見や差別意識といった心理面のバリアである。そこで、オストメイト対応トイレは市内公共施設に設置されているか伺う。

答 市内公共施設は88か所あり、オストメイト対応トイレ設置は28か所です。

問 公共施設が88か所あるのにもかかわらず28か所ではあまりにも少ないと考える。また、オストメイト対応トイレを設置するにあたり、どのくらいの費用が必要か。簡易型もあると聞いているが。

答 公共施設の改修時期に合わせて随時設置を予定しています。また、価格は1施設当たり概ね100万円程で簡易型は使用時においてやや使いづらく簡易型の設置は考えていません。

問 不特定多数の方が利用する守山市の公共施設であり、すべての公共施設にオストメイト対応トイレを設置をしていただきたい。

答 今後は設置可能な限りオストメイト対応トイレの設置を進めます。



翔政会 こ に し こう じ
小西 孝司



問

市政報告会の開催について



問 守山市では年に2回、市の予算や事業について市民に説明する「市政報告会」を行っている。ほとんどの時間、行政側から一方的に説明する形式で、今の時代にそぐわないのではないかと。準備や発表に多くの幹部職員が時間を使う費用対効果の問題も含めて、事業終了または見直しを検討するべきだと考える。市長のお考えは。

答 オンライン放送やホームページでの閲覧など、開催方法の見直しは都度、行っているところです。どのような方法がより市民の皆様に関心を持ってもらい、また職員負担も軽減できるかなど、今後も検討を続けていきたいと考えています。

問 抜本的な見直しは行わないということで、残念な答弁。市長は予算編成方針で「選択と集中」という言葉を使っている。また9月議会の答弁では、働きやすい職場づくりについて「先頭に立ってしっかりとマネジメントを行う」と仰っている。市政報告会は事業規模は小さいが、まずは広報・公聴のよ

うに変えやすい分野から積極的に「選択と集中」を進めていくべきではないか。

答 市政報告会は、広報・公聴で色々を行っている施策の一つであり、大切な意義があり、今後も続けていきたいと考えています。



無所属 かわもと こうへい
川本 航平

議会活動報告(10月~12月)

11月1日	令和3年守山市議会第4回臨時会議
11月1日	総務常任委員会
11月1日	文教福祉常任委員会
11月1日	環境生活都市経済常任委員会・協議会
11月1日	全員協議会
11月4日	総務常任委員会協議会
11月8日	文教福祉常任委員会協議会
11月8日	令和3年度第1回守山市議会議員政治倫理審査会
11月9日	環境生活都市経済常任委員会協議会
11月18日	議会運営委員会
11月19日	公共施設調査特別委員会
11月22日	子育て支援対策特別委員会
11月22日	令和3年度第2回守山市議会議員政治倫理審査会
11月24日	議会改革・広報広聴特別委員会
11月24日	総務常任委員会協議会
11月26日	本会議(1日目)

11月26日	環境生活都市経済常任委員会協議会
11月26日	全員協議会
11月26日	市議会だより編集委員会
12月6日	令和3年度第3回守山市議会議員政治倫理審査会
12月6日	議会運営委員会
12月8日	本会議(2日目)
12月9日	本会議(3日目)
12月10日	総務常任委員会・協議会
12月10日	公共施設調査特別委員会
12月13日	文教福祉常任委員会・協議会
12月14日	環境生活都市経済常任委員会・協議会
12月14日	全員協議会
12月16日	議会運営委員会
12月16日	本会議(4日目)
12月16日	総務常任委員会
12月16日	文教福祉常任委員会
12月16日	全員協議会
12月16日	市議会だより編集委員会
12月24日	全員協議会

次回定例会等の開催予定

2月15日(火)	議会運営委員会
2月16日(水)	公共施設調査特別委員会
17日(木)	子育て支援対策特別委員会
18日(水)	議会改革・広報広聴特別委員会
22日(金)	本会議(1日目)
3月7日(月)	本会議(2日目)
8日(火)	本会議(3日目)
9日(水)	本会議(4日目)
10日(木)	総務常任委員会
11日(金)	総務常任委員会
14日(月)	文教福祉常任委員会
16日(水)	文教福祉常任委員会
17日(木)	環境生活都市経済常任委員会
22日(火)	環境生活都市経済常任委員会
24日(木)	本会議(5日目)

審

議

結

会派…①新政会 ②翔政会 ③ネットワーク未来 ④日本共産党議員団 ⑤自由民主党 ⑥公明党 ⑦、⑧無所属議員

議案番号	件 名	会派	①					②	③		④	⑤	⑥	⑦	⑧						
		議決結果	新野富美夫	筈井昌彦	石田清造	田中尚仁	今江恒夫	西村弘樹	赤淵義譽	小西孝司	酒井洋輔	藤木重則	森重美子	國枝敏孝	小牧一美	藤原浩美	森貴尉	高田正司	山崎直規	渡邊邦男	川本航平
議第69号	令和３年度守山市一般会計補正予算(第11号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第70号	令和３年度守山市国民健康保険特別会計補正予算(第２号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第71号	令和３年度守山市水道事業会計補正予算(第１号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第72号	令和３年度守山市下水道事業会計補正予算(第１号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第73号	令和３年度守山市育英奨学事業特別会計補正予算(第１号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第74号	令和３年度守山市介護保険特別会計補正予算(第２号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第75号	令和３年度守山市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第１号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第76号	市制施行50周年豊かな田園都市守山文化振興基金条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第77号	守山市使用料および手数料条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第78号	守山市育英奨学条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第79号	守山市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第80号	守山市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第81号	守山市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第82号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第83号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第84号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第85号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第86号	指定管理者の指定につき議決を求めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第87号	市道の路線の認定および廃止につき議決を求めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○



果 一 覧

議案番号	件 名	会派	①					②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧								
		議決結果	新野富美夫	筈井昌彦	石田清造	田中尚仁	今江恒夫	西村弘樹	赤淵義誉	小西孝司	酒井洋輔	藤木 猛	森重 重則	福井寿美子	國枝 敏孝	小牧 一美	藤原 浩美	森 貴尉	高田 正司	山崎 直規	渡邊 邦男	川本 航平
議第88号	令和３年度守山市一般会計補正予算(第12号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
議第89号	令和３年度守山市一般会計補正予算(第13号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
意見書第８号	衆議院議員選挙制度の抜本的な改革を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
意見書第９号	文書通信交通滞在費の見直しを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
意見書第10号	オンライン本会議の実現に必要なとなる地方自治法改正を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	□	○	○	○	○
意見書第11号	県立総合病院の独立行政法人化に反対する意見書	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	○	○	□	×	×	×	×

○…賛成 ×…反対 —…議長は採決に加わっていません。 □…欠席

○…賛成 ×…反対 —…議長は採決に加わっていません。 □…欠席

政治倫理審査会の開催と今後の取組み

令和3年10月29日、本市議会議員4名から議長へ、守山市議会議員政治倫理審査会条例第5条の規定に基づく政治倫理基準等違反審査請求書が提出されました。これを受け、守山市議会では、議会運営委員会に諮り、委員8名で構成される「守山市議会議員政治倫理審査会」を設置しました。

審査会は、11月8日から12月6日までの間に3回開催され、12月6日付で審査結果報告書が議長に提出されました。



本市議会議員がまん延防止等重点措置期間中に会食をしていたこと、および緊急事態宣言期間中にゴルフをしていたことが新聞等で報道されました。当該議員が公人の立場を踏まえずに行動したことで、市民の皆さまにご心配をおかけしたことをお詫びします。

今後、守山市議会としては、議員の行動指針等の作成に向けて、協議等を行い、取り組みます。

守山市議会議員一同



まちのトピックス

もりやまいち開催 冬の賑わい



12月19日「もりやまいち」が開催されました。守山の冬の風物詩でもあるこのイベントは、中山道守山宿一帯で行われており、今年は1.3万人の来場者が足を運び、出店や「なまはげ」の演舞、もーリーとゆるキャラ友達によるダンスなど様々なイベントを楽しんでいました。

市議会の傍聴のご案内とインターネット中継

日程は変更になる場合もあります。時間は9時30分からです。お問い合わせは議事事務局へ。TEL 077-582-1151

守山市議会中継

検索

⇒守山市議会YouTube中継ページへ

インターネットアクセス数

(10月19日～1月15日)

896件

アプリで見よう!!

もりやま市議会だよりがアプリで閲覧できます

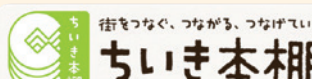
App Store

Google play



マチイロ登録者
1,500人突破!!!

◀「マチイロ」
アプリをインストール



◀「Sidebooks」
アプリをインストールし、
「ちいき本棚」を選択

※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市議会は責任を負いません。



編集後記

昨年は一年遅れでの市制施行50周年事業の一部開催をはじめ、あらためて「集う」喜びを感じることができました。しかしながら新たな変異株の発症と油断できない状況は変わりません。令和3年12月議会におきましては、3回目のワクチン接種の準備や子育て世帯への特別給付金をはじめ、市民の皆様の生活により身近な議案の審議可決を致しました。令和4年も市民の皆様が安全安心に暮らして頂くために市議会としてしっかり協議、審議してまいります。(副委員長 福井 寿美子)



- 用紙:適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷